



西山富三郎議員

問 執行部と議会は「抑制と均衡」、「勢力均衡」の位置にある。

緊張関係の中に誤りなき行政執行と住民意志の反映を期待して作られた制度である。(1) 車の両輪とはどういうことか。(2) 議会の使命、議員の職責をどう期待するか。(3) 邪は正に勝たずの行政を貫くか。

問 長と議会の関係

答 節度ある権限行使

答 (山口町長)

(1) 両者の対等と協力の関係により、行政が円滑に遂行されることになるため、車の両輪といわれる。職務権限を踏まえ節度ある権限行使を行うべきである。(2) 首長や行政活動に対し民主、公平、透明、

効率の観点から監視、けん制、批判機能を果たし、さらには審議、立法機関として議会機能を強化し政策提言も有用と考える。

(3) 公平・公正な立場の中で住民の意見を聞き、職員共通理解の中から進める。

わが町の監査 どうする

問 (1) 町村関係者の

方々の監査に対する意識を変えることが急務と思う。(2) 住民に監査結果をどう周知するか。

答 (椎木代表監査委員)

(1) 単なる非違、不正の摘発ではなく、公正かつ効果率的な指導により、地方行政の適法性及び妥当性を保障したい。

合併協議会の決定事項等正確に執行されているか特に取り組む。

(2) 住民に公表しなければならぬが意見書は載せることは求められていない。掲示板、議会報、広報等への掲載も考えなければならぬ。

何を創造するか新しい発想で考えるところに町村の使命がある。(1) 市町村優先の原則とは。(2) 補完性の原理とは。

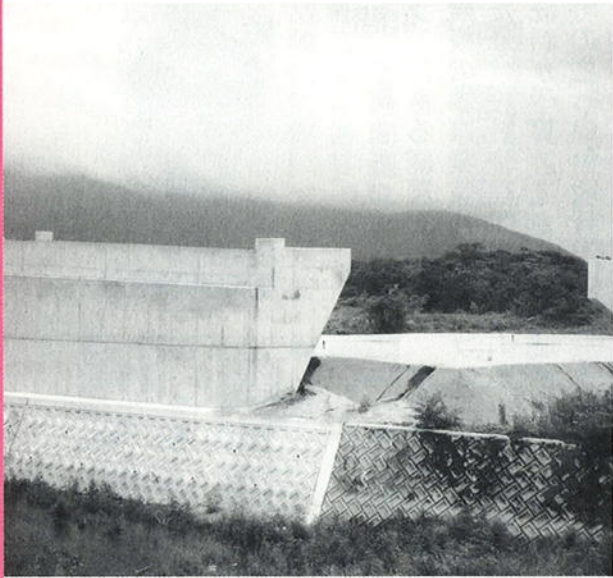
問 これからの町の使命は

答 国に先がけ、末端から先端へ

答 (山口町長)

地方自治の本旨に基づき、自らの町づくりは自ら考えアイデアと知恵を出し合うことにより、国に先がけて政策を作り出す、つまり「末端」から「先端」への潮流ができていくように感じている。原理・原則は理解しきれないものがあるが、地方行政の究極の目的は地域住民の福祉の推進を図ることであり、自主的総合的に実施することでもある。

住民に密着した住民本位の行政を展開していく。



順調に工事が進む押平所子線の押平渡し

押平所子線 接続計画を見直せ

問 町道押平所子線の

改良工事が行われている、接続地点は片木アルミ前である。これよりは県道中高妻木線に接続した方が

よいとの声が多くある。早急に取り組まれない。

答 (山口町長)

この道路は、現在の道路の機能回復を図るのが目的であり、現在の道路への接続が必要である。

問 地方分権時代を迎え、上位下達の姿勢か

提案されたルートについては十分認識しており今後、利便性、安全性等、選考し調査に入りたい。